

2 学年進路だより

Vol.3 令和3年 12 月 23 日
2学年進路指導部

11月進研模試の結果を他校と比較

全国と比較する

11月10日に受験した進研模試（記述）の結果が返ってきました。まずは全体の数字を確認しましょう。

科目	満点	受験者数	平均偏差値	GTZ	校内平均点	校内最高点	校内最高全国偏差値	全国平均点 (つまり偏差値50の得点)
国英歴	300	182	45.0	B3	91.0	149	58.3	112.8
数英理	300	51	40.9	C2	71.0	134	54.6	119.5
国語	100	227	44.8	C1	32.4	60	62.4	40.6
数学B	100	46	44.3	B3	23.1	60	62.9	34.5
数学A	100	44	52.3	C1	17.5	44	75.5	14.9
英語	100	270	46.2	B3	28.2	59	63.1	35.1
世界史	100	82	43.6	C2	26.7	48	54.7	39.0
日本史	100	104	46.8	C1	32.4	72	71.0	37.6
理科基礎計	100	57	43.8	C2	20.2	54	66.4	29.5

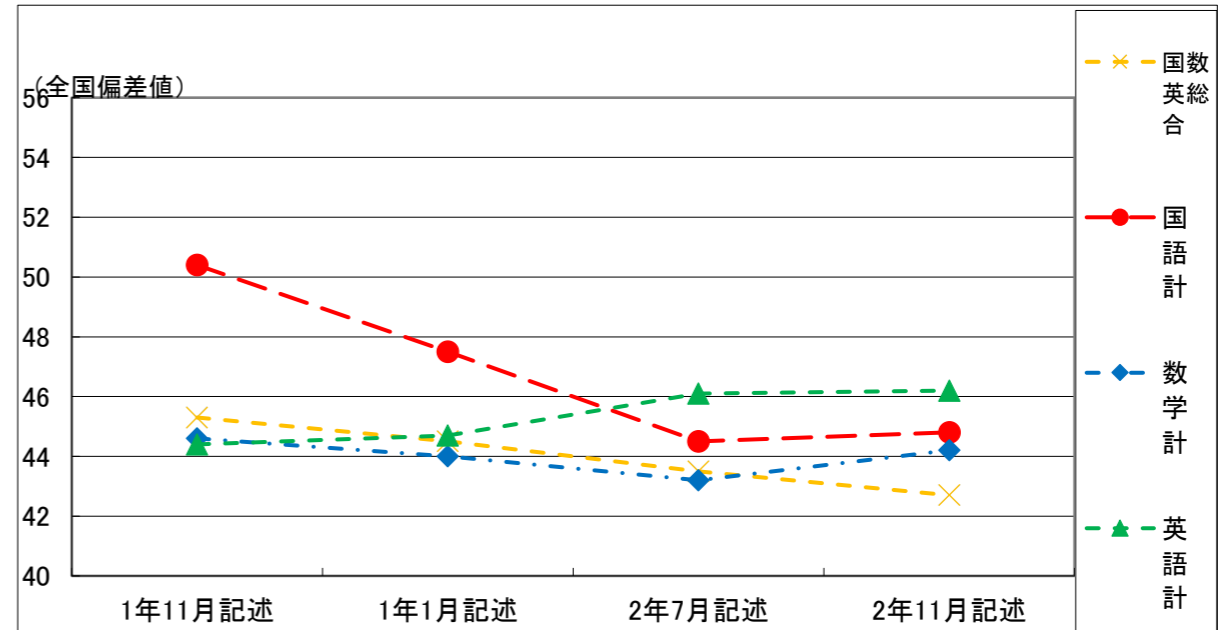
みんなの結果はどうでしたか？ 校内の平均点と近いから一安心、などと思いませんか？ みんなの将来のライバルのほとんどは他校にいます。決して40ちょっとの偏差値に慣れてはいけません。「校内最高全国偏差値」を見ると、草南2年生にもこれだけの偏差値を取っている人がいることが分かります。大いに刺激されてください。ここから力を伸ばす努力をすることで、志望校に手が届くのです。

現状に甘んじることなく努力せよ！

前回と比べてみよう

今回が初めての5教科受験でしたから、英国数の3教科についてこれまでの結果と比べてみましょう。国英数すべてがほぼ横ばい(微上昇)。ただ、1年前と比較すると国語が非常に下がっています。それぞれの科目で扱う範囲が徐々に増えている中で、高い偏差値を取り続けることはとても大変なことです。しかし、今まで学んだ範囲の基礎的な問題については、土台固めとしてしっかり身に付けなければなりません。全国の正答率が高いもので自分が間違えた問題については、早めに復習しておきましょう。

偏差値推移



↑ 今回！

先輩と比べてみよう

では今回はみんなの先輩たちと比較して、推移を見てみましょう。数字は全国偏差値です。

文理・科目	2021年度(今回！)	2020年度 (今の3年生)	2019年度
国英歴 文系	45.0	45.6	41.5
数英理 理系	40.9	40.3	39.2
国語	44.8	44.6	41.9
数学計	44.2	44.8	43.9
英語	46.2	44.7	43.6
世界史	43.6	45.2	40.7
日本史	46.8	49.5	
理科基礎計	43.8	44.8	42.1

昨年度と比較すると、国数は同程度、英語は上回っているが、理社は下回っている。一つ上の先輩たちと今のところ「大差無し」と言えるでしょう。

年が明けたら3年0学期(受験0学期)。2学年はこれでひとまず終了

最近届く2年生用の進路関係の資料は、「2年生用」ではなく「**新3年生用**」と書かれています。つまり受験界ではみんなはそろそろ「3年生」なのです。実際、**2年の3学期は「3年0学期**」と広く呼ばれており、ここから進路活動は本格的にスタートするのです。ですからみんなの2学年は、受験界ではこの2学期をもって終わり、1月には「3年0学期」がスタートします。

□ 2年の冬休みってどう過ごしたらいいの？

この冬季休業中は英国数の宿題があります。それぞれ、2学期の内容の復習がメインとなっております。2学期の復習の足掛かりにしてください。また、2学期の復習に重点を置きつつ、これまで(1年・2年)の総復習にも取り掛かるといいでしょう。授業で分からなかった部分や、覚え切れていない部分はありませんか？ 英単語は？ 古文の助動詞は？ 多分たくさんある「又ケ・モレ」を、この機会に埋めてください。また前回の模試をもう一度解いて解説をしっかりと読み直すのもいいですね。模試の解答・解説本は丁寧に説明されていて、参考書1冊分の価値があります。

この冬休みに今までの総復習に取り掛かろうといいました。それでは、大学入試に向けた受験勉強はいつから始めるのがいいのか？ 図1の円グラフが、受験生に聞いた「受験勉強を始めたタイミング」の調査結果です。約80%の受験生が高3以降に勉強を始めています。なるほど、高3になってから始めればいいのか！と思ったその君、ちょっと待ってください。図2の円グラフを見てください。図2は、受験を終えた人たちに聞いた「受験勉強をいつから始めるべきだったか」の調査結果です。約70%の人たちが、高3になる前に始めていけばよかった、、、と後悔しています。部活動などで忙しくてできないと思っている人もいるでしょう。ちょっとした隙間時間に単語帳をパラパラ見ることも、日々の授業を今まで以上に意識高く受けることも受験勉強の第一歩です。どんなに小さなことでも、やれることからやってみることが大切です。塵も積もれば山となる、です。**どんなことでもいいから行動せよ！**



□ 1月20日(木)は進研模試

大学進学を考えている人は、全国の人たちと競うということ強く意識してください。模試の結果が返却されて、得点だけ見て終わっていませんか？ 偏差値や全国順位にも目を向けてください。まだまだ追い越さなくてはならない人たちが大勢いるはず。戦う相手が全国中の人たちであるため、言うまでもなく膨大な人数がいます。1点変わるだけで、順位は大幅に変わります。この冬、1点でも多く取るための準備をしよう。

また、**世界史で1月の進研模試を受験する人にはもう一つ**しておくことがあります。模試の範囲の予習です。この科目については、まだ今の時点で学習していない範囲も出題されますから、予習を兼ねて教科書の先の範囲を読んでおいてください。1月の世界史の範囲は以下のとおりです。

世界史 B	諸地域世界の形成(南北アメリカ文明含む)～ ヨーロッパ：ローマまで、中国：五代十国まで、インド：ヴァルダナ朝まで、 イスラーム：イスラーム文明の発展(デリー=スルタン朝、マリ・ソンガイ王国)まで
-------	---

自分の第一志望を宣言しよう

大学進学を考えている人、「高2の2学期に大学入試を考えて取り組み始めると合格率が高い」という話は知っていますか？ 部活動との兼ね合いで、実際に受験勉強に取り組むことができる時間はそう多くはありませんが、「第一志望を宣言」することによって、その目標に向けて授業に真剣に取り組む、隙間時間を見つけて単語帳に取り組むなどの意識を高めましょう。

就職を希望している人は、3年生の7月には採用試験を受ける会社を決定しなければなりません。残すところあと8か月なのです。自己を見つめ、自分がどんな仕事に向いているのか、どんな仕事に就きたいのかを常に意識しなければ、自分に合った会社を見つけることは難しくなります。就職を希望している人は、欠席遅刻早退をしない、部活動に懸命に取り組む、検定試験にチャレンジする、ボランティアに参加するなどやるべきことがたくさんあります。「第一志望を宣言」して、これまでにできていないことについては今後しっかりと取り組んでほしいと思います。

専門学校への進学を希望している人は、「〇〇のプロになる」覚悟はできていますか。安易な気持ちで専門学校に進学すると、あとで取り返しのつかないことになるかもしれないことは頭に入れておいてください。この「第一志望を宣言する」ことは、「〇〇のプロになる」覚悟を確認するためにとてもよい機会となります。「どんなプロになるために進学するのか」「プロとしてどんな意識で取り組むのか」についても合わせて考えてください。

そこでみんなには【**第一志望宣言書**】というものをこの冬休みに書いてもらいます。進学希望者は「何を学ぶのか、なぜその学校なのか」の理由を明確にして第一志望宣言書に記入しなければなりません。就職希望者は「自分はどんな人間であるのか」、また「どんな仕事に向いているのか」をはっきりさせて第一志望宣言書に記入することになります。【**第一志望宣言書**】は集会で配布するので、よく考えて記入してください。

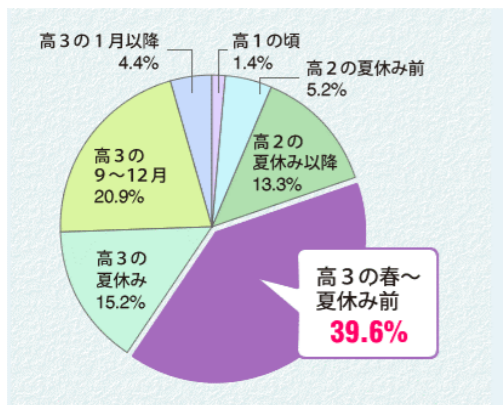
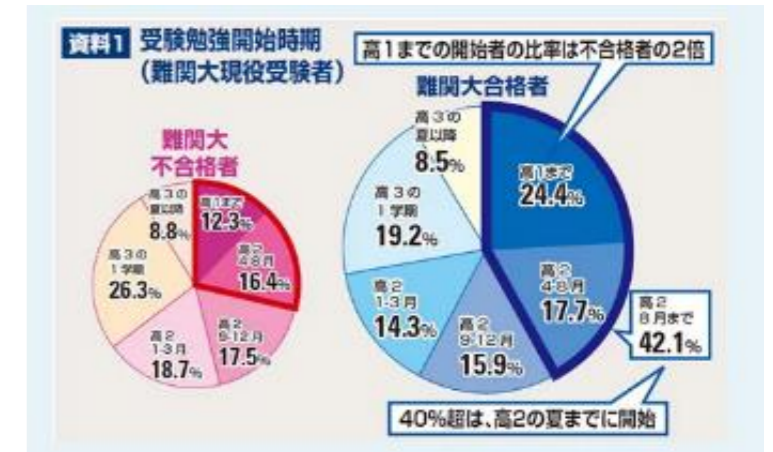


図1

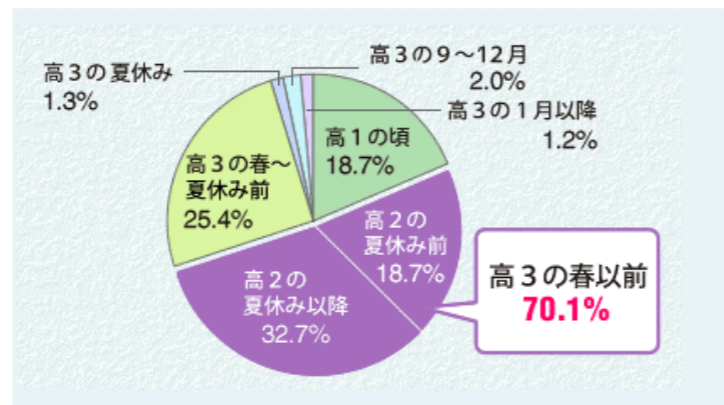


図2